

神戸市立灘さくら支援学校 学校評価報告書

神戸の教育が目指す人間像		教育ビジョン		神戸が目指す これからの学校の姿		
心豊かに たくましく生きる人間		自他を大切に 自ら考え 未来をつくる		人がつながり とともに創る みんなの学校		
り学 の校 目づ 標く	ともに学び ともに育ち 自分らしく生きる (共生社会の一員として生きる力を育成し、個性の伸長を図る)					
内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育 て たい 子 供 の 姿	・ 集団や社会の中で仲間と共に学ぶ児童生徒を育てる ・ 自分と向き合い、自ら考え、判断し、意欲的に活動する児童生徒を育てる ・ 家庭や地域の中で自分の役割を果たそうとする児童生徒を育てる					
	(自ら・共に) 学ぶ意欲の育成	交流及び共同学習の推進 ・ 灘の浜小学校・青陽灘高等支援学校等との交流及び共同学習 ・ AB部門合同授業	4	【交流及び共同学習】 ・ 担当者同士で綿密な計画を立て実施 ・ 灘の浜小との初の合同避難訓練灘を実施 ・ 中学部が青陽灘高等支援フェスティバルへ参加 ・ 小中学部で居住地校交流を実施 【AB部門合同授業】 ・ 中学部) 合同集会を実施(2ヶ月に1回) ・ 小学部) B部門児童がA部門の朝の集いに参加	・ 灘の浜小学校に来校した灘さくら支援学校の児童が、(子供たちののはたらきかけで)授業に飛び入りで参加したこともあり、(自然な)交流もとてもよいものである。	・ 交流及び共同学習について各校担当者・管理職同士で話し合い、持続可能な形で計画実施する。 ・ 高等部と青陽灘高等支援学校との交流の検討
	(自ら・共に) 考える力の育成	地域の方とつながる教育活動の実践	3	・ 小中) 絵画作品出品 ・ 小中高) 地域の事業所の協力で、工場見学、作業学習、トライやる、現場実習等を実施 ・ 高) 石光商事にて喫茶サービスを実施		・ 地域の方々と子供たちが直接かかわれる活動を模索(昔遊び・防災訓練等々)
		子供同士がかかわり合いながら、ともに考え学び合う授業づくり	4	・ 「友達同士のかかわりを生む授業づくり」をテーマにした授業づくりと研修の実施 ・ 様々な授業の中でペア学習・グループワークを取り入れた。		・ 引き続き発展させるよう研修に取り組む
		様々な活動や場面で、自身や仲間と考えさせて前向きな良い行いを導く支援	4	・ 教職員で児童生徒が自身で考え行動するまで待つことを意識した支援を行った。 ・ 児童生徒がよい行動を行った時には、即時にほめ、そのことを全員で共有し意欲を高めた。		・ 日々の生活や授業の中で、子供たちの考えを引き出すさまざまな支援をさらに意識して取り組んでいけるように全職員で共通理解する。
	命・仲間を大切にする心の育成	一人ひとりを尊重し、子供たちが安心して過ごせるあたたかい学級づくり	4	・ 校内人権研修の実施 ・ 教育委員会による人権研修 ・ 常に児童生徒に笑顔で接することを心掛けるという意識を教職員で共有した。		・ 多様性を尊重し、互いの違いを認め合う人権教育の推進
		自他の命を守ることや仲間づくりに関する教育活動の推進 ・ 性に関する教育、防災教育、いじめ防止の授業など	3	【性に関する教育(例)】 ・ 助産師さんによるデリバリー授業(保健だよりで発信) ・ 養護教諭による保健集会(プライベートゾーン等) ・ プライベートゾーン・対人関係のマナーについての授業 【防災教育(例)】 ・ 避難訓練実施(火災、地震・津波)/追悼集会 ・ 学部ごとに防災教育を実施 【いじめ防止(例)】 ・ 学活・道徳でいじめに関する学習の実施 (例) 遊び方、友達との付き合い方、ネットトラブル等	・ 外部団体等が主催する性教育に関する研修案内や情報を掲示板に貼るなど保護者への情報提供があればよい。 ・ 保護者の評価に性教育について「分からない」が多い。学校から「このようなことをしたので、家庭でも取り組んでください」というような発信をしていくのがよいのではないかと。 ・ 人との距離感については、教職員は子供がかわいいので、子供との距離が近くなる傾向がある。大人も子供たちに対しての距離が近すぎないかを振り返る必要がある。 ・ 小学校や特別支援学校では避難訓練を行っているが、卒業後や校外での災害時の対応をするためには地域の防災訓練は必要である。	・ 性教育に関する研修案内や情報を掲示板に貼るなど保護者への情報提供を行う。 ・ 性教育の取組について、HP等を活用して情報発信する。 ・ 引き渡し訓練の計画実施
	必 須 テ ー マ	①いじめ防止対策に関する取組み	いじめアンケートの確実な実施と家庭との連携	4	・ いじめアンケートを毎学期実施(年3回)	
②不登校支援の取組み		定期的な家庭訪問による家庭との連携	4	・ 各児童生徒の状況に応じた家庭訪問等を実施		
③教職員の業務改善		年度途中で業務改善の実施	4	・ 年度途中で改善した方がよいことに気づいたことは入力して、各係で検討する方法を行っている。 ・ 電子会議室で連絡や意見交換を行っている分掌もある。 ・ 週1回エコデーを設けて18:00までの退勤を目指している。		・ KICS(電子会議室・回覧板)の活用が業務改善につながった好事例を収集し紹介する。
④保護者・地域への情報提供・発信(すぐーる活用、ホームページ等)		ホームページへの写真掲載とすぐーるの活用	4	・ 教頭が校内巡視しながら、授業の様子を撮影し、HPに掲載している。		・ HPを活用して、性教育、防災教育、交流、ICTの活用等に関する情報を発信する。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある